
小十郎と揚羽様の 1 日

かるびーえーる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小十郎と揚羽様の1日

【Nコード】

N7934C

【作者名】

かるびーえーる

【あらすじ】

『みなとそふと』様のPCゲーム『君が主で執事が俺で』の中の九鬼揚羽と武田小十郎のちよつとしたお話です。

(前書き)

小十郎視点です。

[illegible]

オス！みんな！俺は武田小十郎！九鬼揚羽様に使える執事だつ！

今俺は朝、揚羽様を起こしに揚羽様の寢室に向かっている途中だっ！
おっと！もう着いちまったぜ！！

ボタン！！！！（ドアが開く音）

「揚羽様!!おはようございます!!」

「朝から……騒々しいわっ!! バカモノ!!」

バキッ！！

「ぐうう!!」

き……効いたぜ!!! さすが揚羽様!!! お強い!!!

「まったく……ん？小十郎？今何時だ？」

「朝の4時でございます。揚羽様」

•

「.....」

「なんだ!! その!...」してやったり」的な笑顔は!! まだ全

然学校に行く時間には程遠いではないか！

「この……！大バカモノがああああ……！！！！！！！！！！」

バキーン！！！！

「申し訳ございません!!!!あ・・・揚羽様 ああああああ
あ~~~~~!!!!」

今日も騒々しい1日が始まるうとしていた……

朝の8時。

揚羽様が登校する時間帯だ。

無論、俺は揚羽様をお守りするため付き添う。

いや！しかし！揚羽様はいつ見ても凜々しいお姿！その額にある十字の傷もすばらしい！

「いやあ！揚羽様！しかし今日はいい天気ですね！」

「はっはっはっ！今日はまさに我のためにあるような日ぞ！……うむ
 ……清々しいぞ……！」

ぽつ・ぽつ・ぽつ

そーそーそー・・・(雨音)

「よし！小十郎！我はこの登校時間が暇である！何か面白い芸でも
見せるが良い。小十郎」

「げ・・・芸・・・ですか？」

「そうだ。早くするが良い」

「・・・・・・・・（汗）」

「・・・・・・・・どうした？」

「・・・・・・・・（につこり）」

「・・・・・・・・」

とびっきりの俺のスマイルを揚羽様にプレゼントフォーユー！

「ないならないと言えっ！気味悪い笑顔を見せるなっ！気色悪くて
仕方ないわっ！バカモノがああああ！」

べきゃっ！

「げばあ！申し訳ありません！揚羽様！」

「まったく・・・我が小十郎に何かを期待してたのがバカだったわ。
もうよい。我は疲れた。おい！

小十郎！次はイスになれ！イス！」

「はあはあ、かしこまりましたっ！揚羽様！」

・
・
・
・
・
(10秒後)
・
・
・
・
・

「揚羽様どうぞっ！お座りください」

「
・
・
・
・
・
なんだ？これは？」

「『小十郎イス』でございますっ！どうぞっ！存分にお座りくださいませっ！揚羽様！」

「誰が四つん這いになれと言った！この……小童がああああ
あああああ！！！！！！！！！！」

バキョーン！

「ぐはあ！揚羽様あああああ！！！！！！！！！！」

揚羽様が学校でお勉強されている間は俺は揚羽様がお帰りになるまでこの学校の門の前で待機している。

そして俺の良き友人もとい同業の上杉鍊うえすぎれんがよくしゃべり相手になつてくれるんだ。

まあ、こいつは久遠寺家の執事だな。

「お前のところも大変だな．．．（汗）」

「何を言う！大変なことがあるか！揚羽様に仕えることがどんなに幸せか貴様にはわかるまい！」

「いつも殴られてばっかじゃねえか……」

「何を言う！ あれは俺と揚羽様の一種のコミュニケーションのひとつだ！ 喝を入れてもらえる幸せ……」

そしてアノ痛み……快感になるくらい幸せなんだぞおおおお
おおおおお!!!!!!!!!!!!!!」

「ただのドMじゃねえか……（汗）」

「ああつ！俺はドMだつ！」

「同意したっ！？」

「悪いかつ!？」

「いや別にいいけどYO!」

それぐらい俺と揚羽様はLOVE LOVE っ てことなのさっ！（いや、違っ！）

「しかし．．．それにしてもやりすぎだよな．．．揚羽様は．．．まさしく、鬼だヨ。鬼」

「なにいい！？貴様つ！揚羽様をバカにする気かつ！！死すコン（シスコン）のくせに！！」

「てめっ……! 字が違っぞゴラあ……! それはつまり……あゝん

「鳩ねえのことを馬鹿にしてるつー意味だな……！しばくぞ……！このヘツポコ執事野郎があああああああ……！！！！！」

「言いやがったな!!!ぶっ殺すテメー!!!」

「かかってこいやあああああ……! ! ! ! ! ! ! ! ! !」

どかばきぼきどかばきぼきどかばきぼきどかばきぼき
どかばきぼきどかばきぼきどかばきぼきどかばきぼき

．．．あれから俺達は警察にしょっぱかれ、事情聴取をとられてようやく解放された．．．

「くっ！！俺としたことが・・・！！もう、揚羽様の下校時間をとくにすぎてるじゃないかっ！！！」

揚羽様！すぐにお迎えに行きます！待っていてください！

•
•
•
•
•

「はあはあはあ……！揚羽様……！ご無事で！により……！
はあはあはあ！」

•

どくんどくんどくんどきゅんどきゅんどきゅん

あと30cm・・・！！

•
•
•
•
•

どくんどくんどくんどきゅんどきゅんどきゅん

あと10cm・・・!!!

「・・・って」

⌋
^
?
⌊

「こゝんなことすると思つたかあああああああ……！！！！！！！！！！」

「……………この……………！！！！！！！！！！」

ドサンピンがあああああああああああああ……！！！！！！！！！！」

ばぎゅ おおおおおおおおおお
 おおおおおおおおおん

「ぎゃばあああああ！！！！！！！！！！あ・・・揚羽様
あああああああ！！！！！！！！！！」

俺を殴った直後の揚羽様は少し微笑んでいるように俺には見えた

終

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7934c/>

小十郎と揚羽様の1日

2011年10月4日06時06分発行